

# 静かな空

連絡先 742-2602 山口県大島郡周防大島町油宇 福田忠邦 Tel+ Fax: 0820-75-1045

沖繩知事  
許可取り消し警告

**辺野古調査停止を指示**

**移設阻止の動き本格化**

**辺野古作業停止を指示**  
知事「1週間以内に」

沖繩防衛局に

2013年1月27日の「普天間基地閉鎖・返還を求める東京集会」で、沖縄県の市長会を代表する翁長那覇市長は「沖縄県民はめざましました。もうもどにはもどれません」と言い切り、「基地をはさんで保守革新がいがみあうのではなく、オール沖縄で基地の整理縮小を強く訴えていこう」と呼びかけました。その翁長氏が、県知事就任後の今年3月23日、国にたいして辺野古の基地建設工事の中止を求めました。(『静かな空』No.36 2013.4.15を参照)

山口県知事と岩国市長は、普天間基地の移転が実現するまでは、艦載機59機の岩国移駐を受け入れないと言っているようですが、艦載機移駐と連動する愛宕山の米軍住宅建築には反対せず、事実上、艦載機移駐を容認しているように見えます。

岩国基地周辺の住民も「オール岩国」で、岩国基地への艦載機移駐に反対し、厚木基地周辺住民とともに米軍基地縮小を求め、辺野古の滑走路建設を阻止する沖縄県民を応援します。

**<地方創生>** 国は沖縄県民の声を最優先すべきです。

戸村良人が見た **大島上空の爆音飛行** 2015年3月26日



10時59分 米海兵隊 UC-35 要人輸送機  
サイテーション(普天間基地)、1機目(1周目)



11時12分 米海兵隊 UC-35 要人輸送機  
サイテーション(普天間基地)、2機目(2周目)



11時29分 米海兵隊 UC-35 要人輸送機  
サイテーション(普天間基地)、3機目(3周目)

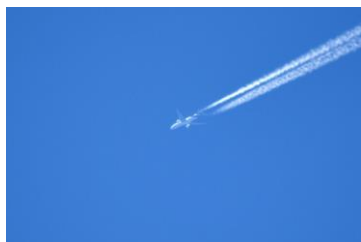


11時43分 米海兵隊 UC-35 要人輸送機  
サイテーション(普天間基地)、4機目(4周目)



11時58分 米海兵隊 UC-36 要人輸送機  
サイテーション(普天間基地)、5機目(5周目)

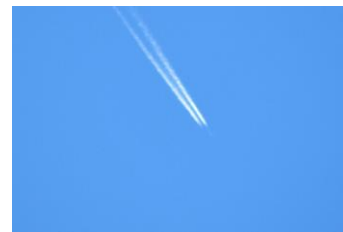
12 時 09 分 米軍チャーター民間貨物輸送機  
ナショナル・エアラインズ ボーイング 757



12 時 38 分



12 時 42 分



12 時 53 分

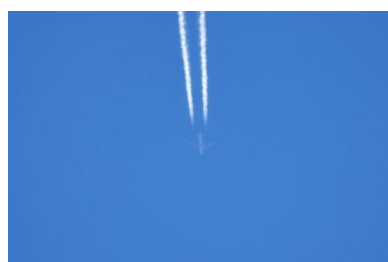


12 時 53 分 米海兵隊 F/A-18C  
ホーネット 戦闘攻撃機 (岩国基地)

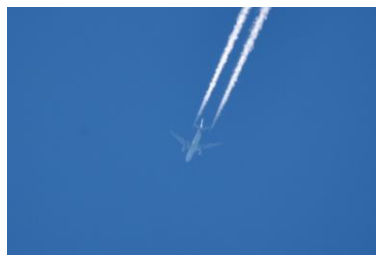


13 時 02 分 米海兵隊 F/A-18  
2 機目ホーネット戦闘攻撃機

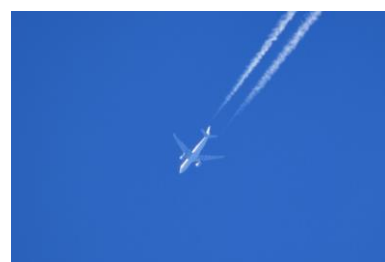
13 時 11 分 米海兵隊 F/A-18C ホーネッ  
ト 戦闘攻撃機 (岩国基地)、3 機目



13 時 28 分



13 時 58 分



14 時 03 分

以後 16 時 52 分まで 15 機飛行したが、スペースの限度があるので省略します。

## 戦後 50 年 村山首相談話 (1995 年 8 月 15 日)

1995 年の戦後 50 周年記念式典で、時の村山富市首相は、「謙虚に反省し、国民の全体としておわびの気持ちを表す」ための「談話」を発表しました。この談話はアジア諸国でも高く評価され、日本国民全体の歴史認識として今も生きています。戦後 70 年の今年、安倍総理が発表する談話の中にも、当然、村山談話に示された深い反省が引き継がれなければなりません。

先の大戦が終わりを告げてから、50 年の歳月が流れました。今、あらためて、あの戦争によって犠牲となられた内外の多くの人々に思いを馳せるとき、万感胸に迫るものがあります。

敗戦後、日本は、あの焼け野原から、幾多の困難を乗り越えて、今日の平和と繁栄を築いてまいりました。このことは私たちの誇りであり、そのために注がれた国民の皆様一人一人の英知とたゆみない努力に、私は心から敬意の念を表わすものであります。ここに至るまで、米国をはじめ、世界の国々から寄せられた支援と協力に対し、あらためて深甚な謝意を表明いたします。また、アジア太平洋近隣諸国、米国、さらには欧州諸国との間に今日のような友好関係を築きあげるに至ったことを、心から喜びたいと思います。

平和で豊かな日本となった今日、私たちはややもすればこの平和の尊さ、有難さを忘れがちになります。私たちは過去のあやまちを二度と繰り返すことのないよう、戦争の悲惨さを若い世代に語り伝えていかなければなりません。とくに近隣諸国の人々と手を携えて、アジア太平洋地域ひいては世界の平和を確かなものとしていくためには、なによりも、これらの諸国との間に深い理解と信頼にもとづいた関係を培っていくことが不可欠と考えます。政府はこの考えにもとづき、とくに近現代における日本と近隣アジア諸国との関係にかかわる歴史研究を支援し、各国との交流の飛躍的な拡大をはかるために、この二つを柱とした平和友好交流事業を展開しております。また、現在取り組んでいる戦後処理問題についても、わが国とこれらの国々との信頼関係を一層強化するため、私は、ひき続き誠実に対応してまいります。

いま、戦後 50 周年の節目に当たり、われわれが銘記すべきことは、来し方を訪ねて歴史の教訓に学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らないことでもあります。

わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に誤り無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止

め、ここにあらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。また、この歴史がもたらした内外すべての犠牲者に深い哀悼の念を捧げます。

敗戦の日から 50 周年を迎えた今日、わが国は深い反省に立ち、独善的なナショナリズムを排し、責任ある国際社会の一員として国際協調を促進し、それを通じて、平和の理念と民主主義とを押し広めていかなければなりません。同時に、わが国は、唯一の被爆国としての体験を踏まえて、核兵器の究極の廃絶を目指し、核不拡散体制の強化など、国際的な軍縮を積極的に推進していくことが肝要であります。これこそ、過去に対するつぐないとなり、犠牲となられた方々の御霊を鎮めるゆえんとなると、私は信じております。

「杖（よ）るは信に如（し）くは莫（な）し」と申します。この記念すべき時に当たり、信義を施政の根幹とすることを内外に表明し、私の誓いの言葉といたします。

## 来日 ドイツ首相メルケルの談話（2015 年 3 月 9-10 日）

### 歴史認識について

3 月 9 日に日本を訪れたドイツのメルケル首相が、都内で講演し、ドイツが戦後、周辺国と友好な関係を築いたことについて、「隣国の助けがあり、ドイツが歴史に向き合う姿勢を示したからこそ、成し遂げられた」と述べ、歴史に真摯（しんし）に向き合う重要性を訴えました。

また「『破壊』と『復興』ということばは、戦後 70 年を迎えた今年にも共通している」と指摘したうえで、「われわれドイツ人は、ヨーロッパや世界に苦しみを与えたにもかかわらず、和解の手を差し伸べてもらったことを決して忘れない」と述べました。

「ヨーロッパの経験から、周辺国との関係を改善するためには何が必要か」との質問に対し、メルケル首相は「ナチスやホロコーストの悲惨な体験にもかかわらず、国際社会に再び受け入れられたことは、ドイツにとって大きな幸運だった。和解は、隣国の助けがなければ実現できなかった。その一方でドイツが歴史に向き合う姿勢を示したからこそ、成し遂げられた」と述べ、歴史に真摯に向き合う重要性を訴えました。（NHK NEWS WEB 10 日）

### 福島原発の事故について

東日本大震災について、「日本国民の復興に向けた連帯意識に強い尊敬の念を抱いている」と述べた。（NHK NEWS WEB 10 日）

9 日講演し、ドイツが 2011 年 3 月の東日本大震災直後に、エネルギー

一政策を転換して脱原発を決定した理由について「極めて高度な科学技術を持つ国で福島のような事故が起きたのを目の当たりにし、（原発には）予想できないリスクが生じることを認識した」と述べた。福島第1原発事故を受け、メルケル政権は22年までに原発を段階的に停止し、再生可能エネルギーを拡充する政策へと転換した。メルケル氏は「（脱原発は）長年原子力の平和利用を支持してきた人間による、政治的な判断だった」と述べ、自らが物理学者として抱いていた原発の安全性に対する考えが揺らいだことを明かした。（毎日新聞 3.11）

## アジア外交のあり方について

「ドイツの経験、教訓に照らして、日本が今後、中国や韓国とどのように関係を改善していったらいいか」という質問に対して、「戦後、ドイツが何をしてきたかについて、ドイツでは非常に突っ込んだ議論が行われてきた。どのように過去の総括を行うのか。ナチスが行った恐ろしい所業、ホロコースト、恐ろしい罪、我々が担わなければならない罪に対して、どのように対応したらいいか（について議論を重ねてきた）。すなわち、過去の総括というのは和解のための前提になっている」。その上で、和解の末にEUという形で欧州の統合を達成できた。「フランスは世界大戦後、ドイツに接近する用意があった。だから今日EUがある。こうした和解の仕事があったからこそEUを作ることができた」（JCAST ニュース 3.11）

## 従軍慰安婦について

民主党の岡田克也代表と意見交換し、日韓両国の懸案となっている慰安婦問題の早期解決を促した。「きちんと解決した方がいい。日本と韓国は価値観を共有しているので和解が重要だ」と述べた。さらに「過去について完全に決着をつけるのは不可能だ」と歴史をめぐる課題解決の難しさに理解を示した。同時に、被害を与えた国のあり方について「常に過去と向き合っていかなければならない」とアドバイスした。（中国新聞 3.11）

## 戦後70年 カトリック司教団のメッセージ（抜粋）

### 戦争放棄への決意

1945年までの日本の朝鮮半島などに対する植民地支配、中国や他のアジアの国々に対する侵略行為はアジアの人々に大きな苦しみと犠牲をもたらしました。また、日本人にとっても第二次世界大戦は悲惨な体験でした。1945年3月10日の東京大空襲をはじめ、日本の多くの都市への大規模な空爆があり

ました。沖縄における地上戦によって日本や外国の兵士だけでなく、多数の民間人が犠牲になりました。そして8月6日広島への原爆投下と8月9日長崎への原爆投下。これらの体験から平和への渴望が生まれ、主権在民、戦争放棄、基本的人権の尊重を基調とする日本国憲法が公布されました(1946年)。日本はこの平和憲法をもとに戦後70年、アジアの諸国との信頼・友好関係を築き、発展させたいと願って歩んで来たのです。

\*\*\*\*\*

戦争放棄は、キリスト者にとってキリストの福音そのものからの要請であり、宗教者としてのいのちを尊重する立場からの切なる願いであり、人類全体にとっての手放すことのできない理想なのです。

\*\*\*\*\*

### **歴史認識と集団的自衛権**

戦後70年をへて、過去の戦争の記憶が遠いものとなるにつれ、日本が行った植民地支配や侵略戦争の中での人道に反する罪の歴史を書き換え、否定しようとする動きが顕著になってきています。そして、それは特定秘密保護法や集団的自衛権の行使容認によって事実上、憲法9条を変え、海外で武力行使できるようにする今の政治の流れと連動しています。他方、日本だけでなく、日本の周辺各国の政府の中にもナショナリズム強調の動きがあることにわたしたちは懸念を覚えずにはられません。周囲の国と国との間に緊張がある中で、自衛権を理由に各国が軍備を増強させるよりも、関係改善のための粘り強い対話と交渉をすることこそが、この地域の安定のために必要なのです。

また日本の中でとくに深刻な問題は、沖縄が今なお本土とは比較にならないほど多くの基地を押しつけられているばかりか、そこに沖縄県民の民意をまったく無視して新基地建設が進められているということです。ここに表れている軍備優先・人間無視の姿勢は平和を築こうとする努力とは決して相容れません。

2015年2月25日

日本カトリック司教団

## **大島の静かな空を守る会 定例会議**

日時 2015年3月10日 10-12時  
場所 周防大島町役場日良居出張所  
出席 9名



## 議事

- 1 岩国の住民団体の連帯を強化して「オール岩国」の態勢をつくるために、「瀬戸内ネット」は具体的に何をするのか。  
「瀬戸内ネット」の今年の活動方針には  
活動の交流（相互情報交換）&支援  
(1)岩国基地を取り巻く中四国の基地強化に反対する住民との交流と書かれているが、具体的なことは書いてない。  
「大島の静かな空を守る会」は団体会員だから、「瀬戸内ネット」が住民団体の連帯の強化のために働きかけるよう、要望すべきである。  
各団体が行う活動・行事を「瀬戸内ネット」が他の団体へも通知し、参加をよびかけるべきである。愛宕山集会への参加の呼びかけもすべきだ。
- 2 「大島の静かな空を守る会」は何をしたらいいのか。  
自由発言：  
低空飛行をやめさせるのが大切。高度を高くして被害を少なくすべきだ。  
全国的に保守的な世論が強くなったようだ。  
憲法9条を守る、集団的自衛権を認めさせないということをこの会が主張すべきだ。  
外国へ行って、自分の国は自分で守らねばならないという考えになった。  
この会は「艦載機移駐反対」の署名からはじまった。  
協議課題：  
「憲法9条」や「集団的自衛権」は、これまでは会の方針にはなかったが、その必要性について、次回以後検討することにする。
- 3 県会議員選挙について  
周防大島町のT氏は、どういう経過で立候補することになったのか。  
(関係者から概略説明あり)  
T氏が4つの「約束」のひとつに「原発・艦載機移駐には反対」を掲げていることは評価できる。  
会として、特定の人物を推薦することはしないが、個人的にT氏を支持するのはいいと思う。
- 4 会計 26年度 協力金提供者12名。協力金25,000円  
支出：会報印刷、会報郵送、封筒代 など  
郵便振替による送金はなかった。

大島の静かな空を守る会 協力金（自由意志）振込先

ゆうちょ銀行 振替口座記号番号 01380-1-88949

口座名称 加化囃